

県学校教育の重点

―地域の特色を生かし、地域とともに歩む学校づくり―

- 1 学ぶ意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進
- 2 豊かな心などを育む教育の推進（道徳教育の充実）
- 3 いじめを見逃さない、いじめを許さない意識の醸成（「いじめ見逃しゼロスクール」の推進）
- 4 健康でたくましい心身をはぐくむ教育の充実
- 5 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進
- 6 未来を切り拓く力を育てるキャリア教育の推進

努力事項と具体的な取組（□努力事項 ○取組）

- 自分の思いや考えを、相手に分かりやすく伝える力の育成
 - 他者と考えを交流する場を設定する。（グループ学習やペア学習）
 - 課題と関連した学びの振り返りを重視する。（板書やノートの工夫）
- 基礎・基本の定着
 - WEB配信問題を活用した基礎学力の定着と補充学習に取り組む。
 - 陰山メソッドを実施する。（まず計算・漢字・音読の反復練習）
 - 家庭学習強調週間を実施する。
- 早川に愛着と誇りをもつ子の育成
 - 地域の「人・もの・こと」とかかわりながら学習を進める。
 - 人財を積極的に活用した年間指導計画を作成し、改善しながら実践する。

目標とする成果（評価項目）

- 学習で「自分の考えを表現したり、友達の話の聴いたりすることができた」とする児童を85%以上。【学期末・アンケート】
- 国語・算数のワークテストで、目標値を上回る児童を80%以上【学期末評価】
- 1日「学年×10分以上読書や家庭学習をした」とする児童を80%以上【学期末・アンケート】
- 「地域の人やものとかかわりながら学習できた」とする児童を80%以上【学期末・アンケート】

保護者・地域との連携

- ◎懇談会、便りで学習状況を伝え、家庭と連携して学習の習慣化を図る。
- ◎家庭での読書を推奨し、読書に親しむ習慣化を図る。

特色ある教育活動

- 自然を守り、育てる「つつじが丘緑の少年団」活動、愛鳥活動
- 自然に対する感性を磨く「旬会」、ボランティアによる読み聞かせ等豊かな心を育む「読書活動」
- 地域を愛し、ふるさと意識を育むジオ学習、地産地消給食、福祉施設、独居高齢者宅訪問等との交流活動

平成29年度 下早川小学校 グランドデザイン

生きる力

下早川小学校の教育目標

考える子 やさしい子 たくましい子

本年度の重点目標

○友達や地域の人たちとよりよくかかわる力の育成



糸魚川市の期待する子ども像

○ふるさとに学び、たくましく生きる子ども

市子ども教育の目標

○自然・人・社会に進んで関わり、学び合い、夢に向かって挑戦する子どもの育成

941-0014 糸魚川市日光寺322

<http://www.tukimizu.itoigawa.ed.jp>



□めあてをしっかりとち、体づくりに励む態度の育成

○体を動かすことが好きになる体育授業や遊びを工夫する。
・体力、技能向上のための用具や環境を計画的に整備する。

□早寝・早起き等の望ましい生活習慣の育成

○年3回の強調週間（6月；歯と口の健康旬間9、10月：生活リズム改善事業、1月：かせ予防週間）を設け、関心や意欲を高める。

・メディアコントロールを含めた生活習慣に関する保健指導の成果と課題を保護者へ発信し、啓発活動を効果的に行う。
（中学校区家庭学習強調週間と連携）

□地域の自然災害の特徴を知り、自分の身を守るための知識と行動力の育成

○年間指導計画に基づいた各自然災害の学習を発達段階に応じて確実に行う。

○「体育の授業や休み時間に体を動かすことが好き」とする児童を80%以上【学期末・アンケート】

○「生活習慣をよりよいものにしようと意識している」とする児童を80%以上【学期末・アンケート】

○「基本的な生活習慣が身に付いている」とする児童・保護者評価が80%以上【学期末・アンケート】

○「自然災害が発生したときにどう行動するべきか分かる」児童を100%【学期末・アンケート】

◎学校保健委員会、中学校区等保護者や家庭・地域、中学校区小中学校などと課題や解決策、成果を共有する。

◎「健康積立カード」「健康生活チェックカード」等を用いて、家庭と学校が連携して健康づくりとそのための取組を進めていく。

◎人権学習・同和学習や道徳を積極的に公開し、授業への参加や懇談会を通し、連携して心の教育を推進する。

◎地域ぐるみでのあいさつ運動の推進

